J613-M7150-14 Rev.A

Wireless LAN PCCL-11

簡単セットアップシート

・本 チラシはWireless LAN PCCL-11の設定手順を紹介しております。さらに詳しい機能の説明を確認したい場合は 「詳細編マニュアル」（ユーティリティーディスクに収録）を参照してください。
・本チラシに記載のイラストや画面は、実際と多少異なる場合があります。

ご注意ください

・本製品はパソコンに挿し込んで使用する無線LANカードです。決してトリオモデムに挿し込まないでください。
・本製品をパソコン以外の機器でご使用された場合で生じた損害・トラブルについてはー切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

STEP1 準備をする

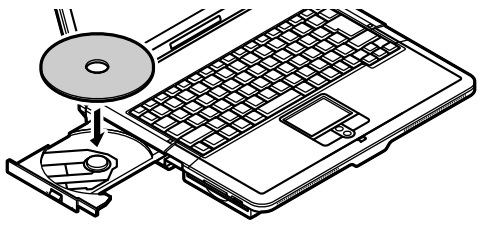
Yahoo! BBのトリオモデムに同梱されているセットアップガイドを参照して、あらかじめトリオモデムの設定をしてください。

STEP2 無線LANカードを使えるようにする

ご注意ください

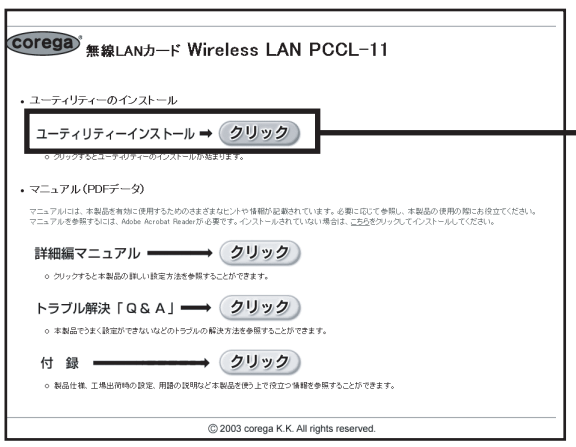
・現在ご使用中のアプリケーションをすべて終了してください。
・Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオンしてください。
・Windows 2000の場合は「Administrator」またはAdministratorグループのユーザー名でログオンしてください。
・本製品は手順9までパソコンに挿入しないでください。

1 付属のユーティリティーディスクをCD-ROMドライブに入れます。



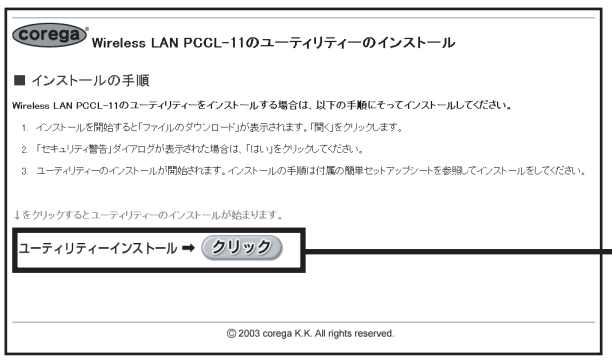
2 自動的に手順3の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は「マイコンピュータ」のCD-ROMのアイコンをクリックしてください）。

3 「ユーティリティーインストール」をクリックします。



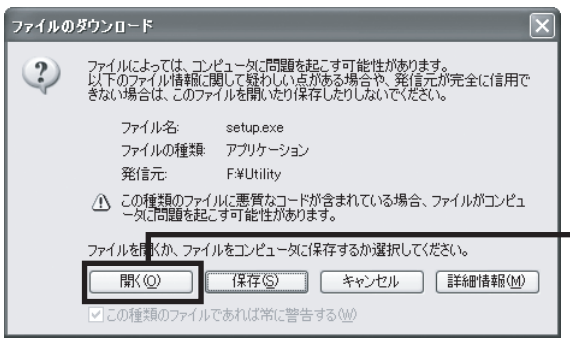
クリックします

4 次に表示される画面で「ユーティリティーインストール」をクリックします。



クリックします

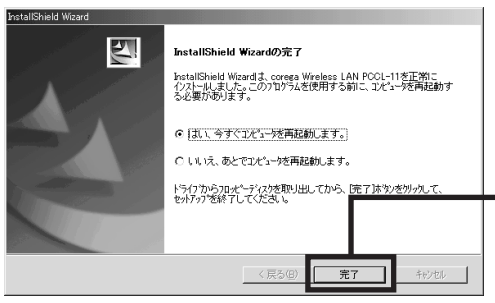
5「開く」をクリックするとセットアップウィザードが表示されます。



クリックします

6 手順に従っていくつかの画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。

7 「InstallShield Wizardの完了」の画面が表示され、本製品のユーティリティーのセットアップが完了しました。CD-ROMドライブからユーティリティーディスクを取り出し、「完了」をクリックします。



ユーティリティーディスクを取り出してからクリックします

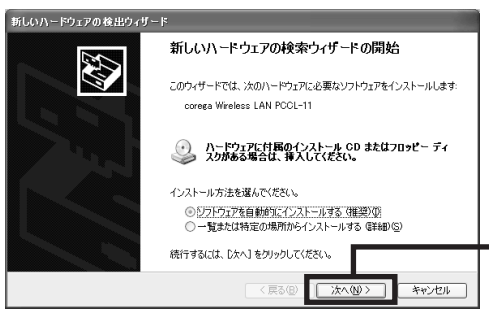
8 パソコンが再起動しますので完了するまでしばらくお待ちください。

9 本製品の製品名（PCCL-11）が記載されているラベルを上にして、パソコンのPCカードスロットにまっすぐ挿し込み、カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。

10 ドライバーのインストールが自動的に開始されます。お使いのOSに合わせて以下の手順で設定してください。

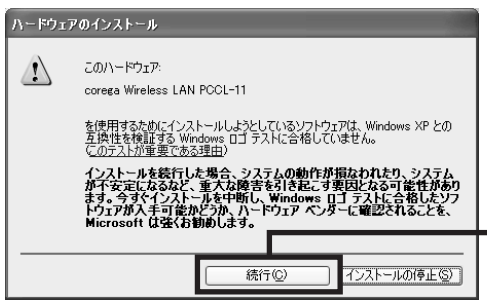
Windows XPの場合

①自動的に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



クリックします

②「Windowsロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されたら、「続行」をクリックします。



クリックします

③ドライバーがインストールされます。「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックして終了します。

Windows 2000/Me/98の場合

①自動的に本製品のドライバーがインストールされます。

メモ Windows 2000の場合、デジタル署名が見つからなかったというメッセージが表示されたら「はい」をクリックしてください。

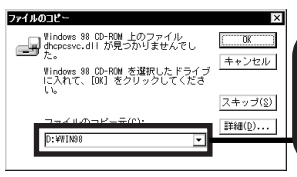
クリックします

注意！ Windows 98ではOSのCDを挿入するようメッセージが表示される場合があります。

1 CD-ROMドライブから本製品のユーティリティーディスクとWindows 98のCD-ROMを入れ替えて「OK」をクリックします。

クリックします

2 「ファイルのコピー元」に以下のように入力し「OK」をクリックします。



「D:¥WIN98」
または
「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」
と入力する※

CD-ROM (D:)

※ドライブ名はお使いのパソコンによって違います。「マイコンピュータ」をダブルクリックして確認してください。

②ドライバーがインストールされます。ドライバーのインストールが完了したというメッセージが表示されたら「完了」をクリックして終了します。再起動が必要な場合は画面の指示に従い行ってください。

裏面に続きます

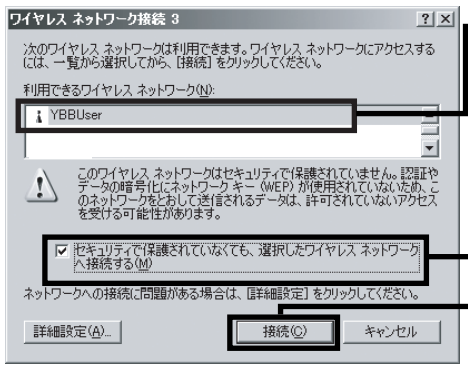
STEP3 インターネットに接続する

1　接続状態を確認します。お使いのOSに合わせて以下の手順で設定してください。

Windows XPの場合

①タスクトレイ※にある（ワイヤレス ネットワーク 接続）を右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択します。
※通常、タスクトレイはディスプレイの右下にあります。

②以下のように設定を行ってください。



1 トリオモデムのESS-ID（出荷時設定「YBBUser」）が表示されますので選択します

2 チェックをつけます
※お使いの環境によってはチェックボックスに表示されないことがあります

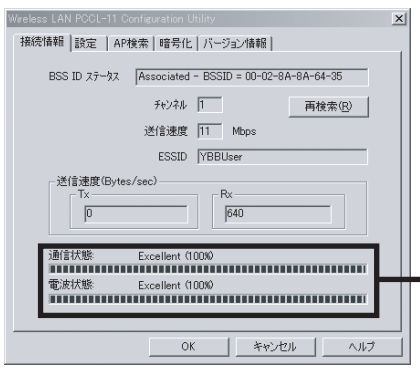
3 「接続」をクリックします

③画面右上の「×」をクリックして画面を閉じてください。

Windows 2000/Me/98の場合

①タスクトレイ※にある（Wireless LAN PCCL-11 Configuration Utility）をダブルクリックします。
※通常タスクトレイはディスプレイの右下にあります。

②「通信状態」と「電波状態」に青色のバーが表示されていることを確認してください。表示されていれば正常に接続しています。
安定した通信を行うために表示が100%により近い場所でお使いください。



青色のバーが表示されていることを確認してください

③「OK」をクリックして画面を閉じてください。

2　パソコンのWebブラウザ（Internet Explorerなど）を起動して、インターネットに接続されていることを確認します。

これで本製品のセットアップは終了です

本製品のさらに詳しい設定、またはセキュリティーの設定については「詳細編マニュアル」（ユーティリティーディスクに収録）をご覧ください。

電話、FAXでのお問い合わせ先

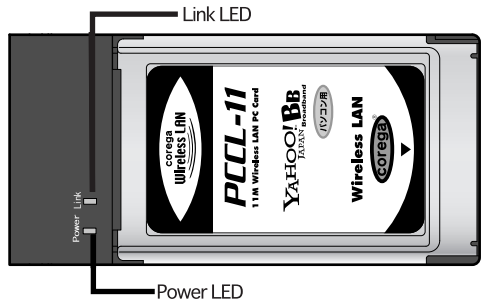
製品に関するご質問は弊社サポートセンターにお問い合わせください。お問い合わせの前に下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名（本体の裏面のシールに記載されています）
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX番号
・購入店
・購入日付
・お問い合わせ内容（できり限り詳しくお知らせください）

coregaサポートセンター
TEL.045-476-6268　　FAX.045-476-6294
（通話料はお客様の負担となります）
＜受け付け時間＞
10:00～12:00、13:00～18:00
月～金（祝・祭日を除く）

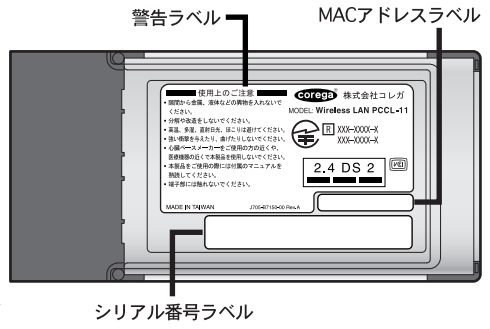
各部の名称と機能

表面



●Link LED
　点灯：Linkが確立している状態
　点滅：Linkが確立していない状態
　消灯：電源が供給されていない状態
●Power LED
　点灯：電源が供給されている状態
　消灯：電源が供給されていない状態

裏面



●警告ラベル
　本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されています。
●シリアル番号ラベル
　本製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、製品の問い合わせの際に必要な情報です。
●MACアドレスラベル
　本製品のMACアドレスが記載されています。

2.4 DS 2 は次の内容を意味しています。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	20m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

製品仕様

無線部	
国際規格	IEEE802.11、IEEE802.11b
国内規格	RCR STD-33、ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4～2.497GHz
伝送方式	直線拡散型スペクトラム拡散方式(DS-SS方式)
アクセス制御方式	CSMA/CA
データ転送速度	11/5.5/2/1Mbps
サービスエリア	屋外150m、屋内50m(11Mbps通信時は屋外60m、屋内30m)
セキュリティー	WEP(64/128bit)、ESSID
アンテナ方式	空間ダイバーシティー
電源部	
動作電圧	DC+5V±0.5V
最大消費電力	0.15W
最大消費電流	送信時 290mA、受信時 288mA
環境条件	
保管時温度	−20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	
	115(W)×54(D)×7.5(H)mm(アンテナ部を含む) PCCard Type II 準拠
重量	
	約40.7g
取得承認	
	EMI規格VCCIクラスB、技術基準適合認定

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANではLANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
　　・メールの内容
　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

無線LANをより安全にご利用いただくために、ESS-IDの変更、暗号化の設定（WEP)は必ず行ってください

■ESS-IDの変更…無線LANネットワークを特定するための文字列（ネットワーク名）を変更します。
　ESS-IDはお好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など個人を特定できる文字列は使用されないことをおすすめいたします。

■暗号化する設定（WEP）…送受信するデータを暗号化し、また第三者の不正なアクセスを防ぐことができます。
　暗号化する設定（WEP）を行うと、無線で送受信するデータを仮に第三者に傍受されても解読することが難しくなります。また、トリオモデムとお持ちのパソコンに同一の「WEPキー」を設定しないと通信ができないので、カギをかける役割もあり、第三者による不正（無断）なインターネット接続を防ぎます。

■その他のセキュリティー設定　●MACアドレスフィルタリング
　●無線設定(無線LAN端末間の通信設定)　など